

銀杏坂タイム

☎ 仙台市 子供相談支援センター

所長 大友 重明

仙台市青葉区錦町 1-3-9

TEL 022-214-8602 (相談支援係)

022-214-8848 (青少年指導係)

第 149 号 令和 4 年 9 月 12 日

子育て何でも電話相談の紹介です

早い所だと、8月19日頃から随時学校が再開され、教育・福祉・保育の関係機関も一気に動き出したように思われます。夏休み明けは、保護者にとっても子供たちにとっても不安が高まっていくものです。加えて、コロナ感染症の対応に頭を悩ませている方々も多いのではないのでしょうか。

令和4年度の夏休み前（4月～7月期）の「子育て何でも電話相談」（主に0歳～小学校中学年を対象）の相談件数は、昨年同期に比べ（2割程度）減少しています。一方で、1件当たりの相談時間は増加しており、この傾向はここ数年続いています。相談内容の複雑化やコロナ禍にあって人と話す機会が減少したことへの反動という見方もできます。次に、同期の相談対象者別の割合については、0歳と小学1年生の割合が例年並みに高い他に、小学生では4年生の割合が高くなっています。「10歳の壁」などと表現されることもある難しい年代の相談が多くなっています。また、幼児期の3、4歳の相談件数が多いのも今年度の傾向で昨年比1.6倍の相談が寄せられています。この年代は自己主張期、いわゆるイヤイヤ期の絶頂にあたり親御さんも自身のメンタルを含めて悩んでいる姿が感じられます。

相談内容別に見ると、「学力・学校生活」・「友人関係」・「不登園・不登校」の相談が4割以上減少しています。これはコロナ状況下での学校生活が安定してきたことや、この状況だからこそ互いに尊重し合うことの大切さを学んだ証であるかもしれません。また、オンライン授業など不登校やその傾向にある児童生徒にとっては、学校へ登校するというハードルが少し低くなったことの現れかもしれません。逆に「いじめ」や「虐待」の相談が増えつつあるのは、学校や児童館等での人との関わりが増えてきたことにも要因があるかもしれません。全体で一番多い相談内容は、「子育て不安」です。相談件数が減少している中で、昨年比の1.6倍に増えています。日常の様々な子育て場面での不安やコロナ禍で判断に迷うこと、絞り切れない漠然とした不安など多岐に渡っています。それらの相談については、明確な解決に至らない場合も少なからずありますが、相談者に寄り添い傾聴することで、相談者の気持ちが落ち着いたり安らいだりして終話することがほとんどで、改めて相談電話の意義を感じる次第です。以下は、相談電話の利点についてまとめたものです。

- 会話の口調、言葉の使い方、声のトーンなどから心情が感じ取ることができ、より相談者に寄り添った相談ができる。
- 相談事に対して即応性があり、随時修正をはかりながらより良い方向性を相談者と共に考えることができる。
- ネット等での情報過多に悩む相談者に対して、生の事例などを紹介し、情報を整理しながら相談することができる。
- 傾聴を基本としながらも、客観的見地を示すことにより、迷いのある相談者自身の一定の決意を促すセカンドオピニオンの相談ができる。
- 相談者自身の懸命な子育てを尊重し、正論だけが正解でない子育てに揺れる相談者の感情の整理をはかることができる。
- 匿名が担保されており、自由に会話することができ、相談者のストレス解消にもなり、心の安定をはかることができる。

電話相談には以上のような利点がありますが、電話相談から面接相談に進展する場合があります。さらに、メール相談を含めて積極的に利用していただきたいと思います。

夏休み明け以降は、年度当初の緊張感も薄れ、生活環境や人間関係にも一定の落ち着き・安ど感がある一方で、慣れてきたからこそ親しくなってきたからこそ生じるトラブルも多くなります。そんなときは家族で抱え込まず、当センターの相談窓口をぜひ利用してください。

10月にセミナーを開催します！！

～子育てに生かす家族のコミュニケーション～

家庭で子供と接していく中で対応や声掛けに戸惑ったり、身近な所に相談相手がいなかったりして子育てに悩まれる保護者がいる現状を踏まえるとともに、今日的话题として不登園・不登校や引きこもり傾向にある子供たちの実態と大人のより良い関わり方について事例を交えつつ講話をしていただく予定です。一般市民向けセミナーとして保護者をはじめ、学校や関係機関の方にぜひ聞いていただきたい内容になっています。

令和4年10月18日（火）午後6時30分～午後8時

「不登校や引きこもりの子どもたちへのより良い関わり方」 ～井上円了と森田正馬から学ぶ～

家族心理、家族のコミュニケーションの第一人者。研究室で配信中のYouTubeで心理学を分かりやすく伝えるなど人気の高い先生です。
東北大学 教授 若島 孔文 氏



令和4年10月25日（火）午後6時30分～午後8時

「子どもたちが元気になる大人の声かけ・働きかけ」

心理学やカウンセリングに関する著書は数多く、保護者や支援者に勇気と希望を提供することを意識したセミナーで大活躍する先生です。
東京家政大学 教授 杉山 雅宏 氏



〈会場〉 オンワード樫山ビル 10階会議室（青葉区二日町 12-34）

*移動に当たっては、公共交通機関を利用されるか、車でお越しの際は有料駐車場を利用してください。

*先着順 100名程度

〈申込〉 市民の皆様（FAXまたはeメール）

市職員（上記方法に加えて、デスクネットメールも可）

学校関係者（上記方法に加えて、c4thでの個人連絡も可）

*申込開始 9月15日（木）午前9時

*申し込み後、数日のうちに、当センターより参加に関する通知を送ります。

*詳細はセミナー案内や当センターのホームページに載っています。

